

Enterprise Premium 電子証明書発行サービス

USB トークン利用手順書

[Enterprise Premium CA - G3/USB トークン]

Ver2.0

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社

目次

1. はじめに.....	4
1.1. ご利用条件.....	4
2. ランタイムパッケージ(ドライバ)インストール手順.....	5
3. USB トークン (ePass2003) の利用方法.....	7
3.1. USB トークン (ePass2003) を使用する.....	7
3.2. USB トークン (ePass2003) を取り外す.....	9
4. 管理ツールの利用方法.....	10
4.1. 管理ツールの起動.....	10
4.2. ログイン.....	11
4.3. 証明書情報の表示.....	13
4.4. 証明書のエクスポート.....	14
4.5. ユーザ PIN 変更.....	15
4.6. ログアウト・管理ツールの終了.....	18
5. ランタイムパッケージ(ドライバ)のアンインストール手順.....	19

改定履歴

改定日	版	内容	作成者
2016.10.21	1.0	初版	ジャパンネット株式会社
2018.07.02	2.0	合併に伴う社名変更	三菱電機インフォメーション ネットワーク株式会社

1. はじめに

本手順書は、Enterprise Premium 電子証明書発行サービス(以下、当サービス)の電子証明書の USB トークン(ePass2003)をご利用いただくために必要な設定、操作方法の手順書となります。電子証明書のお申し込み時の格納媒体に USB トークンをご選択された電子証明書が対象です。

USB トークン(ePass2003)のご利用には専用のドライバが必要です。事前に、下記 URL に接続し、「ePass2003 USB トークンランタイムパッケージ」をダウンロードし、インストールする必要があります。

<http://www.japannet.jp/securenw/download/software/ePass2003-Setup.exe>

本手順書に掲載している画像は OS:Windows 7、ブラウザ:Internet Explorer 11 のものです。お客様がご利用になる OS やブラウザにより画像が一部異なる場合がありますが、適宜読み替えていただきますよう、よろしくお願い致します。

1.1. ご利用条件

USB トークン(ePass2003)をご利用いただくためには、以下の要件を満たしている必要があります。

- ・ USB コネクタ(USB1.1 または USB2.0)があること
- ・ BIOS が USB をサポートし、且つ CMOS 設定上 USB が使用可能な状態になっていること
- ・ 下記の OS 及びブラウザの組み合わせのうち、いずれかを利用していること

サポート環境

サポート OS	サポートブラウザ
・Microsoft Windows 7	・Internet Explorer11
・Microsoft Windows 8.1	・Internet Explorer11
・Microsoft Windows 10	・Internet Explorer11

※ サポート OS 及びサポートブラウザは全て日本語版に限ります。

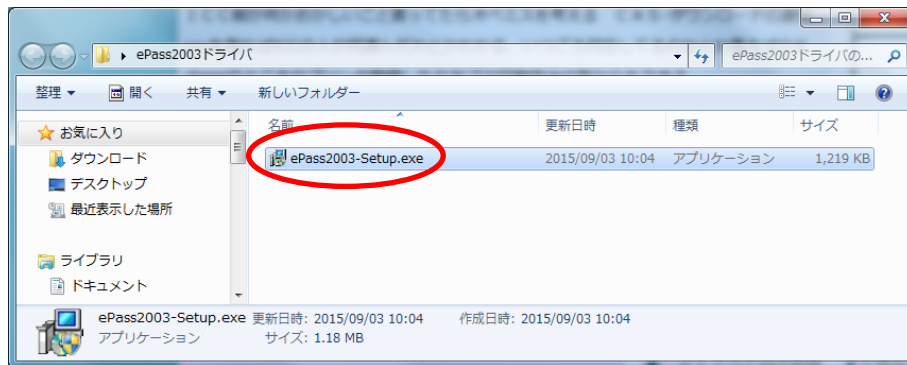
※ Microsoft Windows 7 に関しては、「Starter」エディションは除きます。

※ ブラウザは JavaScript が有効である必要があります。

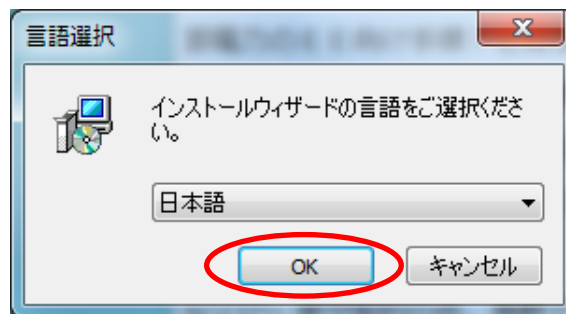
※ 2016 年 1 月 12 日より Microsoft 社のサポートブラウザが各 OS 最新のバージョンのみとなっています。弊社サポート OS およびサポートブラウザは Microsoft 社のサポート方針に準じます。

2. ランタイムパッケージ(ドライバ)インストール手順

- (1) インストールプログラム「ePass2003-Setup.exe」をダブルクリックします。



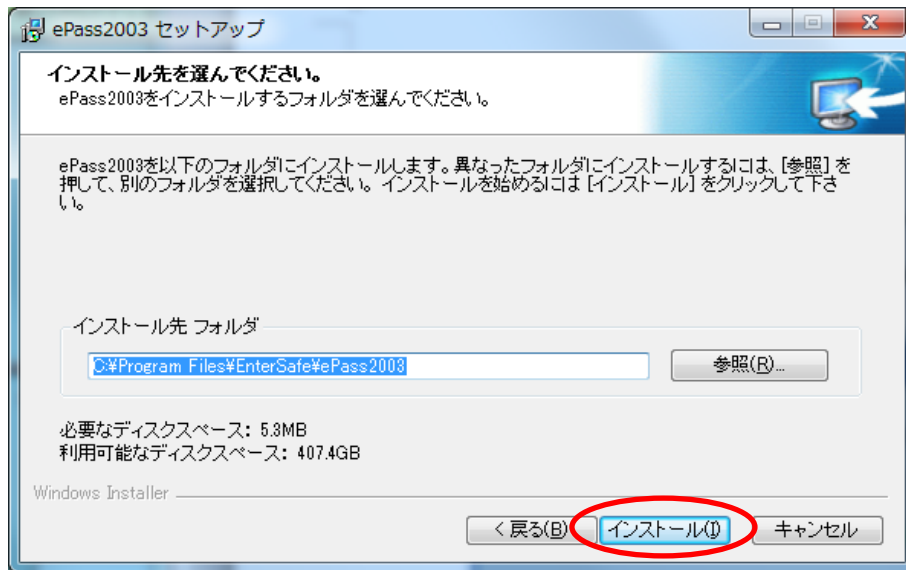
- (2) 言語選択画面では「日本語」と表示されている事を確認し、「OK」をクリックします。



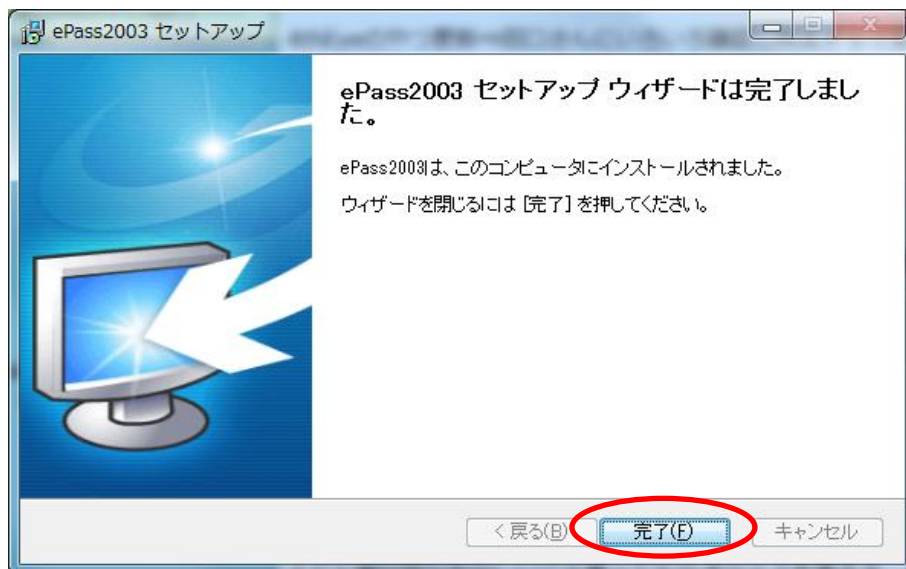
- (3) 以下画面が表示されるため、「インストール」ボタンをクリックして USB トークン (ePass2003) ランタイムパッケージ(ドライバ)のインストールを開始します。



- (4) インストール先の選択画面が表示されるので、インストール先フォルダを確認し、「インストール」をクリックします。インストール先を変更される場合は、「参照」をクリックし、インストール先を変更した後に「インストール」をクリックします。



- (5) USB トークン (ePass2003) ランタイムパッケージ (ドライバ) のインストールが完了すると、以下の画面が表示されるので「完了」をクリックします。

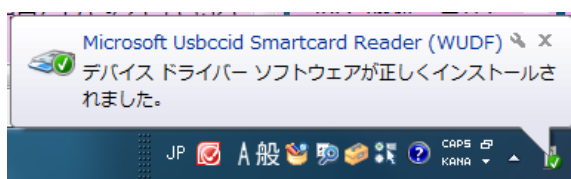
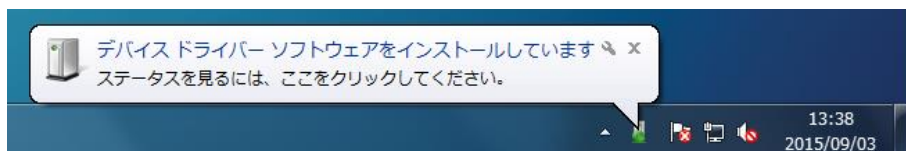


※ USB トークン (ePass2003) ランタイムパッケージ (ドライバ) をインストールすると、エンドユーザ用管理ツール (ePass2003 管理ツール) も自動的にインストールされます。

3. USB トークン (ePass2003) の利用方法

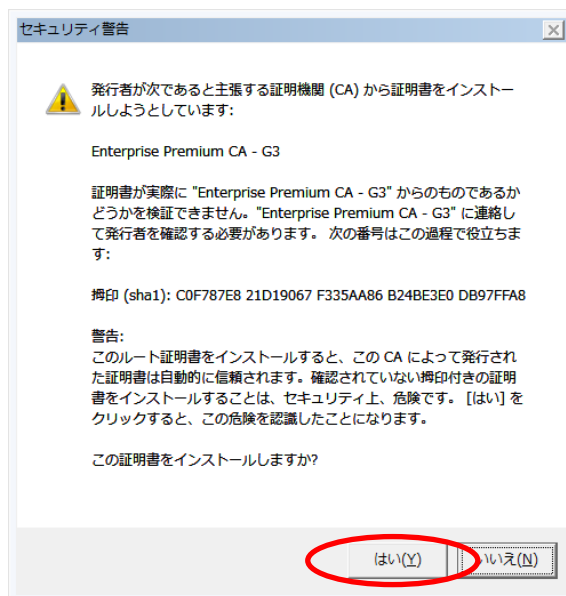
3.1. USB トークン (ePass2003) を使用する

- (1) USB トークン (ePass2003) をお使いのパソコンの USB 端子へ差し込みます。
- (2) 「デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています」と画面の右下に表示されます (「2. ランタイムパッケージ(ドライバ)インストール手順」を未実施かつ初回接続時のみ)。そのまましばらくお待ちください。インストールが終了しましたら、「デバイス ドライバー ソフトウェアが正しくインストールされました。」と表示されます。

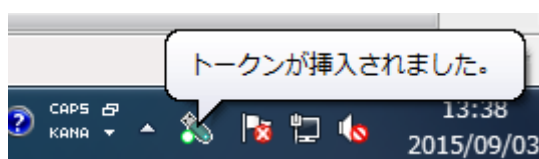


- (3) 「セキュリティ警告」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックします。

※ 既に下記の証明書がインポートされている場合、画面は表示されませんので本手順は不要です。

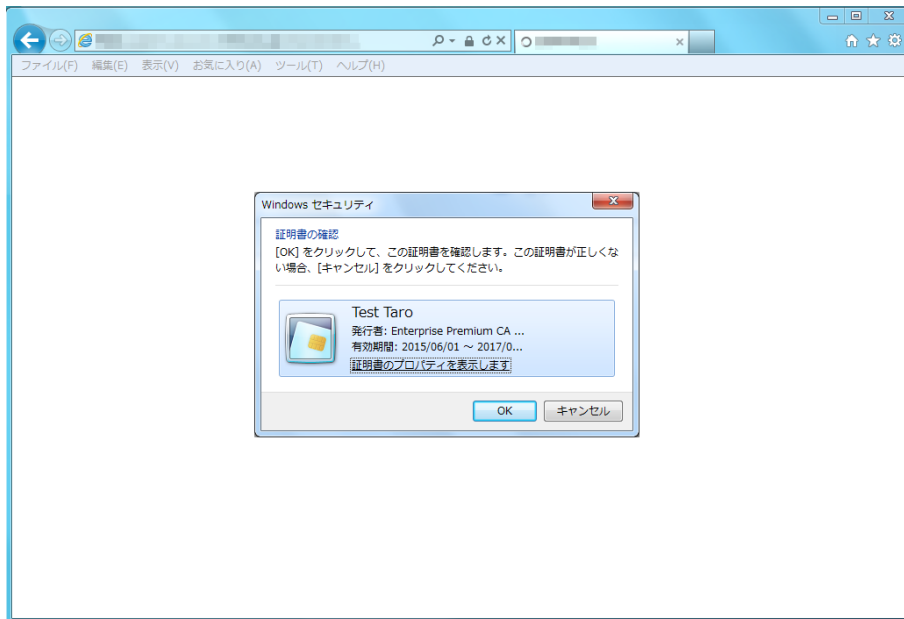


- (4) 「トークンが挿入されました。」と画面の右下に表示されれば正常に動作しています。



(5) 証明書を利用するホームページへアクセスします。

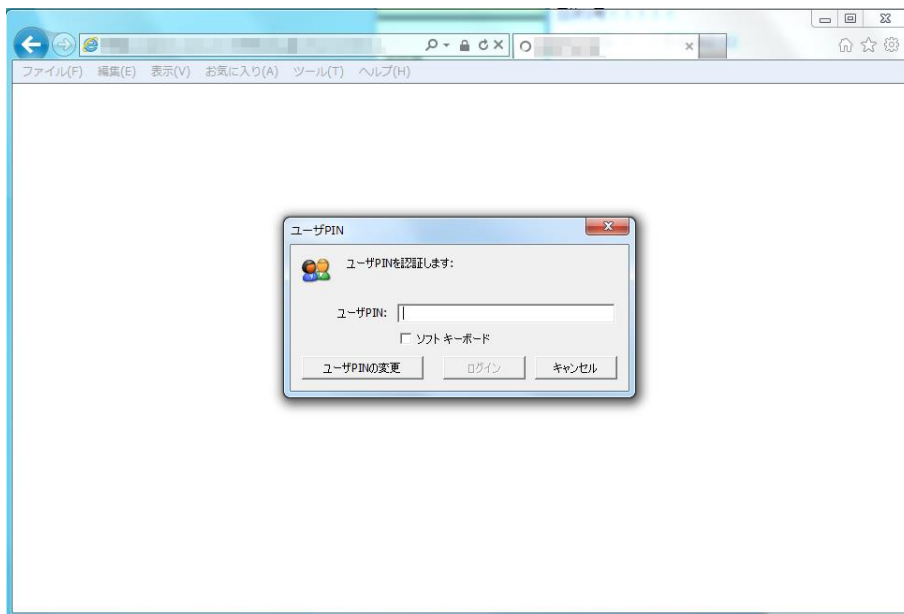
(6) 証明書選択画面が表示されます。USBトークンの証明書を選択し、「OK」をクリックします。



※ ブラウザの設定により証明書選択画面が表示されない場合があります。

選択可能な証明書が1つしかない場合、かつ、Internet Explorer の「インターネットオプション」>「セキュリティ」タブの「インターネット」ゾーン>「レベルのカスタマイズ」設定の「既存のクライアント証明書が1つしか存在しない場合の証明書の選択」が「有効にする」の場合は、証明書選択画面は表示されません。

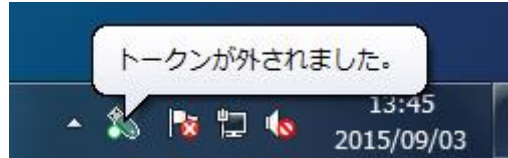
(7) ユーザ PIN を入力する画面が表示されます。証明書の PIN 番号を入力し、「ログイン」をクリックします。



(8) SSL クライアント認証に成功した場合、接続先のホームページが表示されます。

3.2. USB トークン（ePass2003）を取り外す

- (1) USBトークン(ePass2003)をパソコンより引き抜きます。
- (2) 「トークンが外されました。」が画面の右下に表示されます。取り外した USB トークン(ePass2003)は鍵の掛かる場所などに厳重に保管してください。

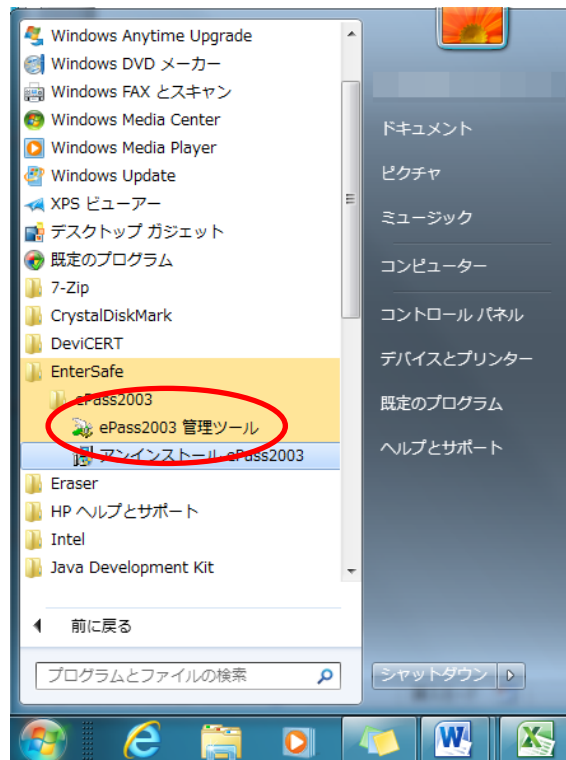


4. 管理ツールの利用方法

USB トークン (ePass2003) に格納された証明書情報の表示や証明書のエクスポートをするためには USB トークン (ePass2003) ランタイムパッケージ (ドライバ) をインストールされた際に自動でインストールされる ePass2003 管理ツールを利用します。ePass2003 管理ツールを用いて USB トークン (ePass2003) にログイン後、各処理を実施します。

4.1. 管理ツールの起動

- (1) USB トークン (ePass2003) を PC に接続します。
- (2) USB トークン (ePass2003) を PC に接続した状態で「スタート」メニューから「すべてのプログラム」>「EnterSafe」>「ePass2003」>「ePass2003 管理ツール」をクリックします。

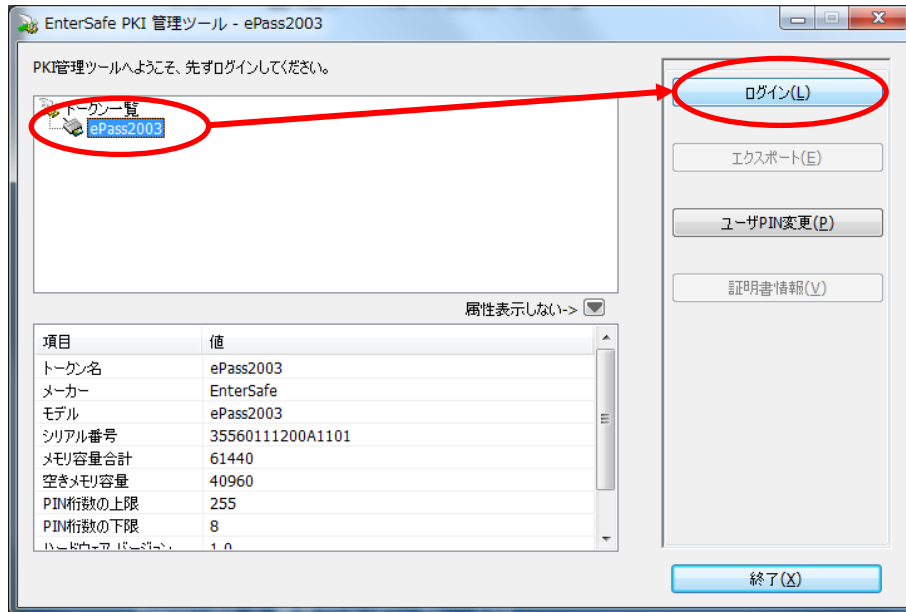


- (3) 管理ツールが起動します。

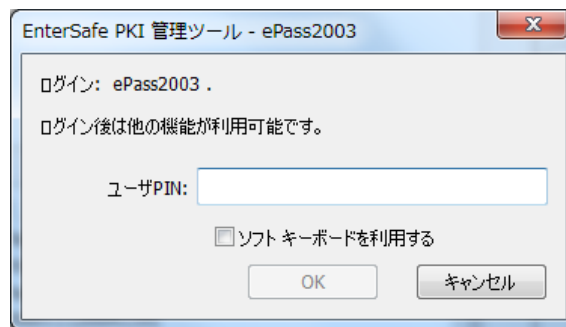


4.2. ログイン

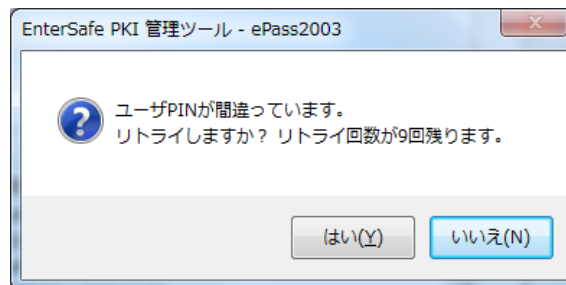
(1) 「トークン一覧」から「ePass2003」を1つ選び、右のメニューから「ログイン」をクリックします。



(2) ユーザ PIN の入力画面が表示されるので、証明書の PIN を入力し、「OK」をクリックします。

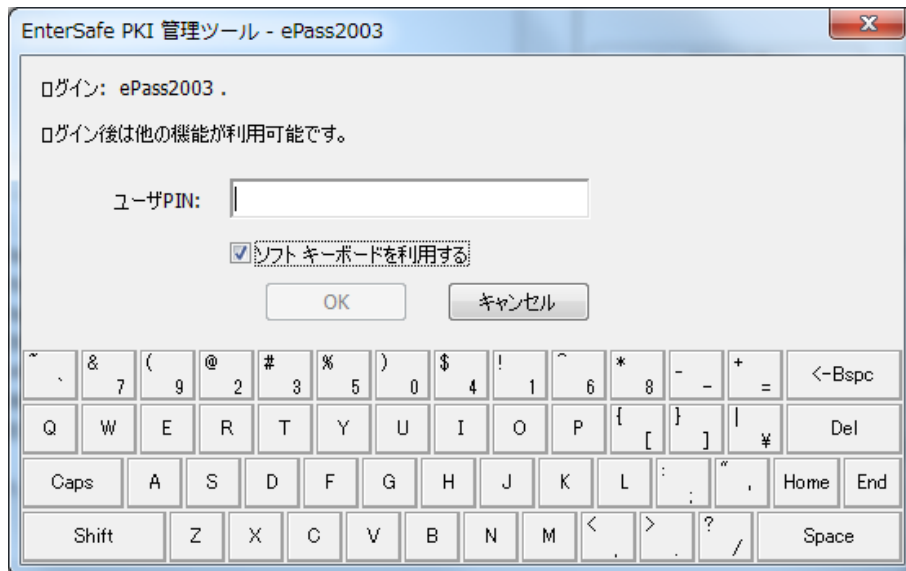


間違った PIN を入力した場合、エラーメッセージ画面が表示されます。PIN を確認後、再入力をお願いします。

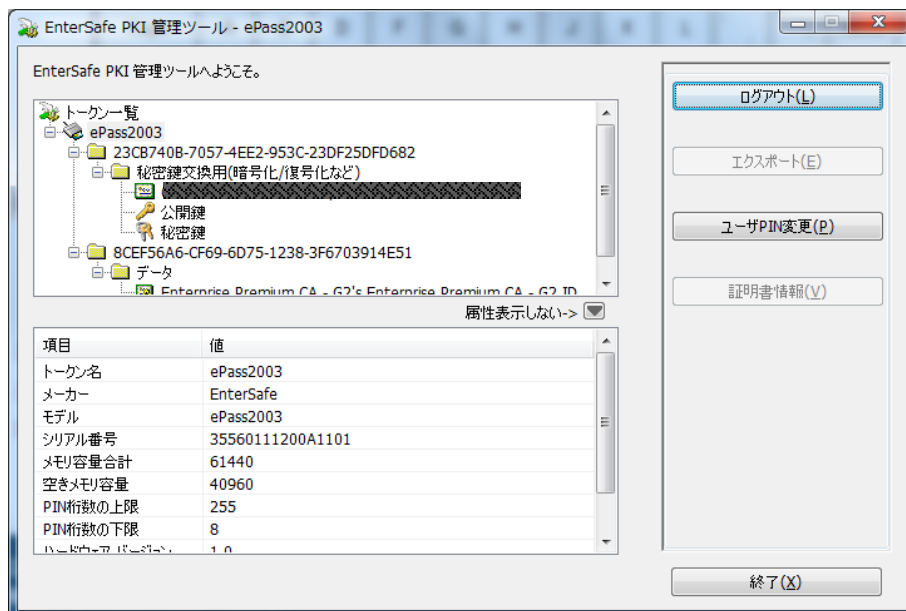


※ ブラウザの設定により証明書選択画面が表示されない場合があります。間違った PIN 入力を 10 回連続で入力した場合、トークンがロックされて以降、ロックされた USB トークンをご利用できなくなりますので注意してください。

- ※ 「ソフトキーボードを利用する」にチェックを入れることで、ソフトキーボードを利用することができます。
ソフトキーボードを利用する場合、物理キーボードは利用いただけません。

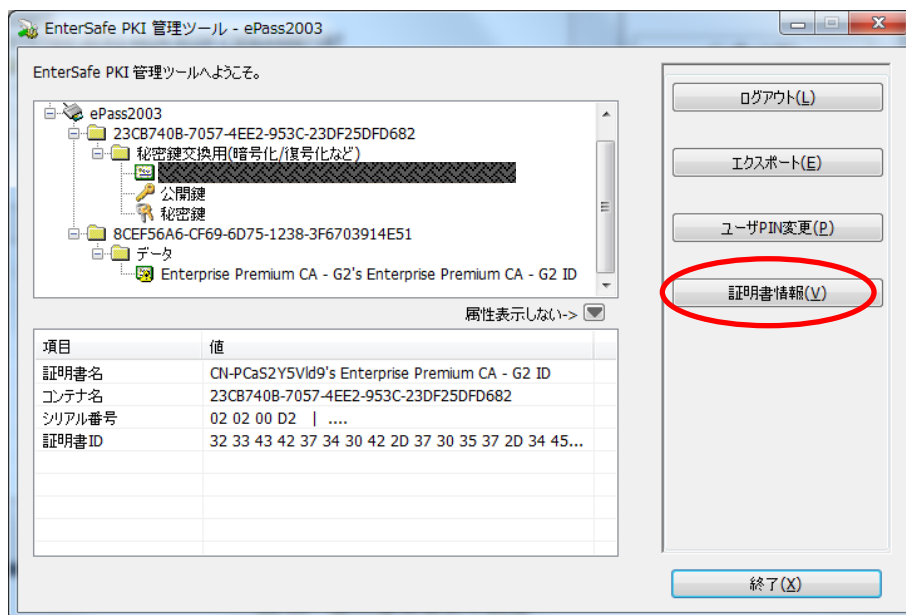


- (3) 正しい PIN を入力し、ログインに成功した場合、左上にトークン一覧、左下に選択されたトークンの情報が表示され、右のメニューの「ログイン」が「ログアウト」に変化します。

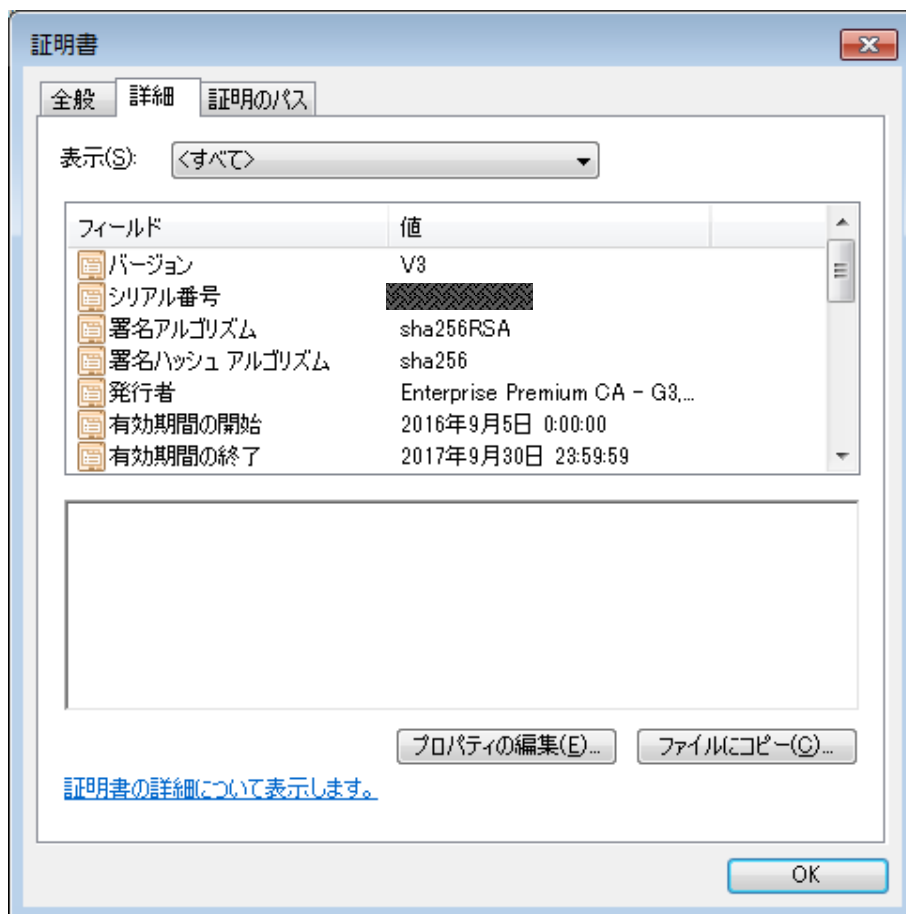


4.3. 証明書情報の表示

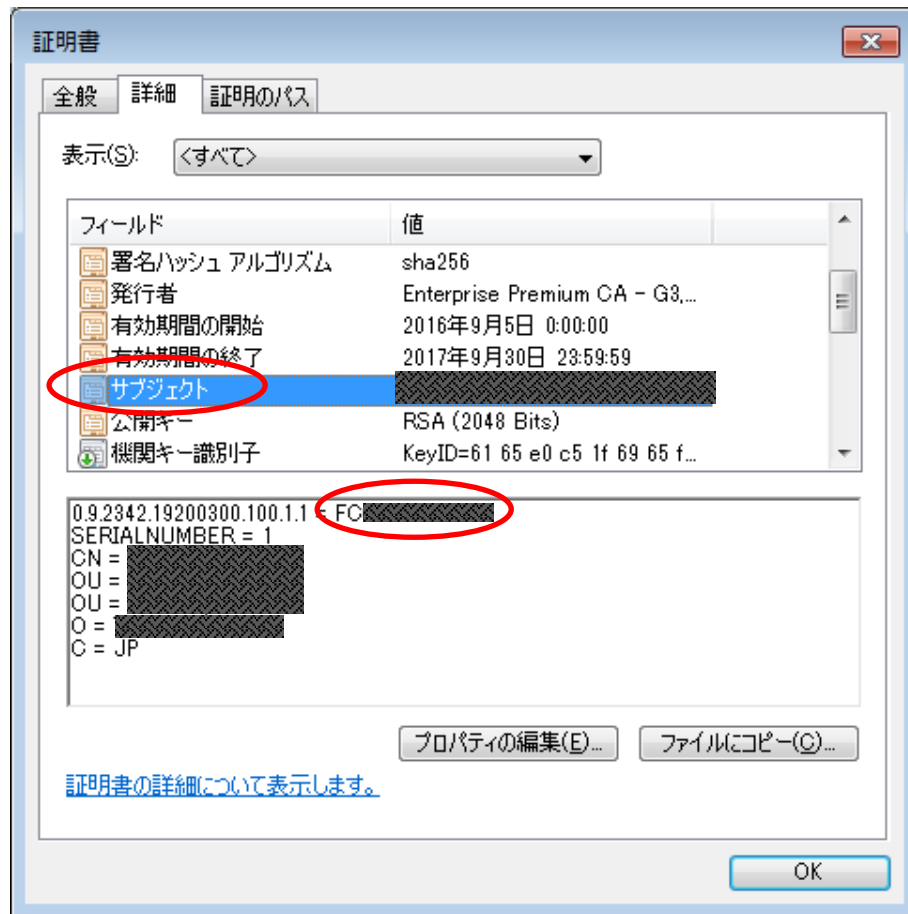
- (1) 左上のトークン一覧以下から証明書情報を表示したい証明書を選択し、右のメニューの「証明書情報」をクリックします。



- (2) 証明書のシリアル番号等の詳しい情報は「詳細」タブに表示されます。
- ・ 証明書のシリアル番号は「シリアル番号」の右に 16 進数で表示されます。
 - ・ 証明書の有効期間については「有効期間の開始」、「有効期間の終了」として表示されます。



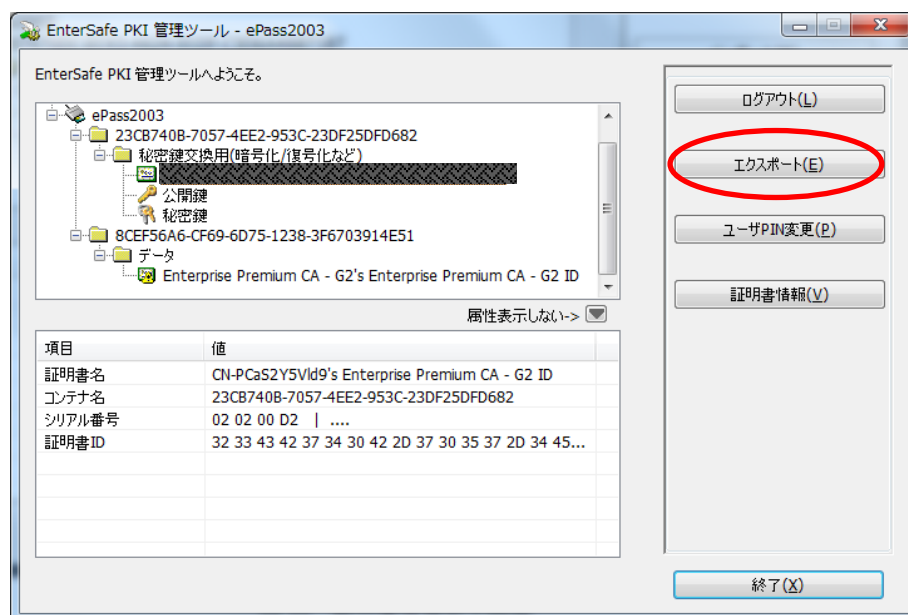
- 証明書 ID の確認方法は画面を下にスクロールし、サブジェクトをクリックします。下の枠をご確認頂き、FC から始まる英数字が証明書 ID となります。



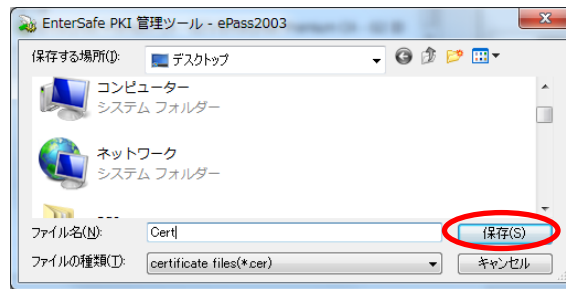
4.4. 証明書のエクスポート

※ 「エクスポート」は秘密鍵をエクスポートすることはできません。公開鍵のみエクスポートすることができます。

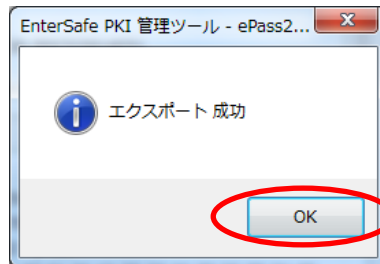
- (1) 左上のトークン一覧以下から証明書情報を表示したい証明書を選択し、右のメニューから「エクスポート」をクリックします。



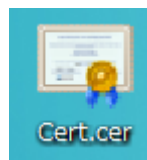
- (2) エクスポートした証明書の保存先を選択、ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。



- (3) エクスポート成功画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



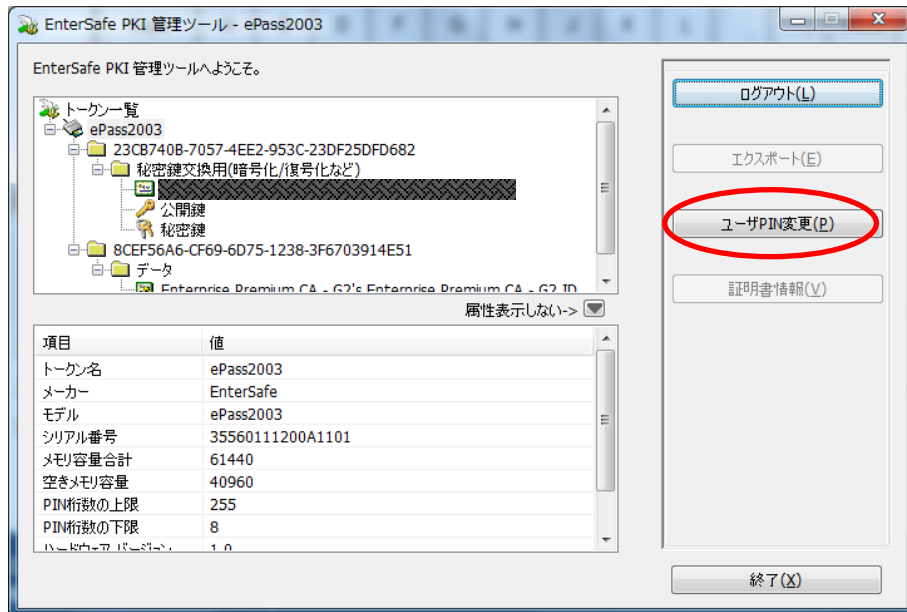
- (4) 証明書の保存先を確認し、エクスポートした証明書がある事を確認します。



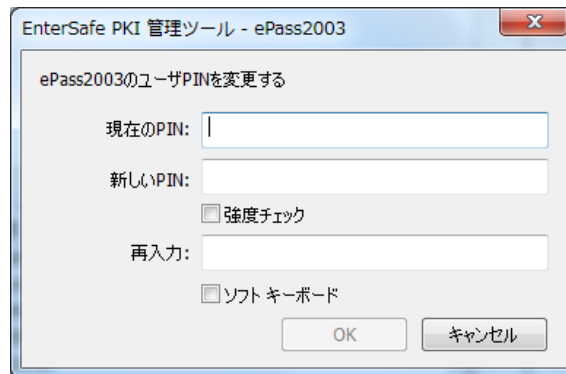
4.5. ユーザ PIN 変更

- ※ 初期ユーザ PIN は依頼書に記載いただいた証明書 PIN(パスワード)が設定されます。依頼書に証明書 PIN(パスワード)の記載が無い場合は当サービスでランダムに生成した 8 桁の PIN が設定されます。
- ※ ユーザ PIN を変更された場合、変更後のユーザ PIN を紛失されますと USB トークン (ePass2003) にログインができなくなりますのでご注意ください。

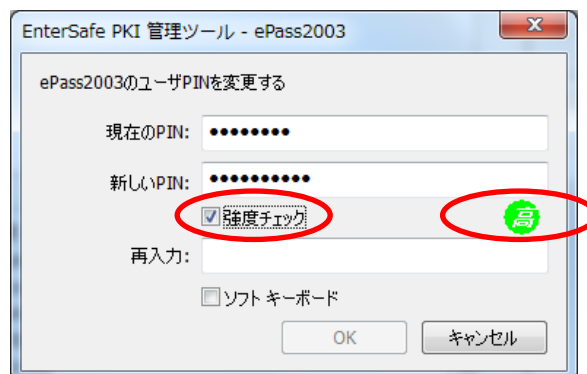
- (1) 右のメニューから「ユーザ PIN 変更」をクリックします。



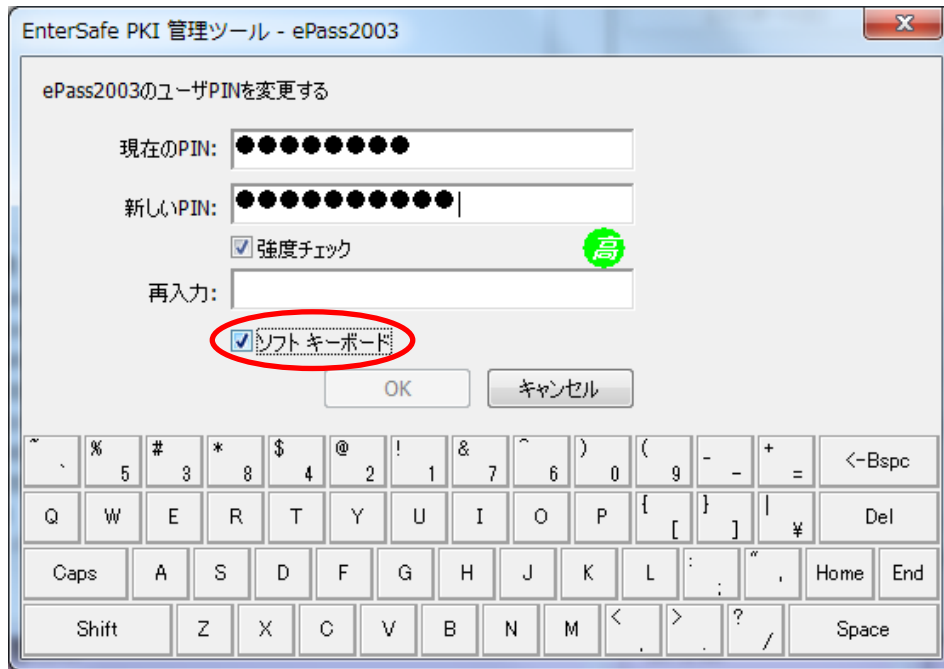
- (2) 変更後のユーザ PIN を設定する画面が表示されるので、現在のユーザ PIN と新しいユーザ PIN をそれぞれ入力します。



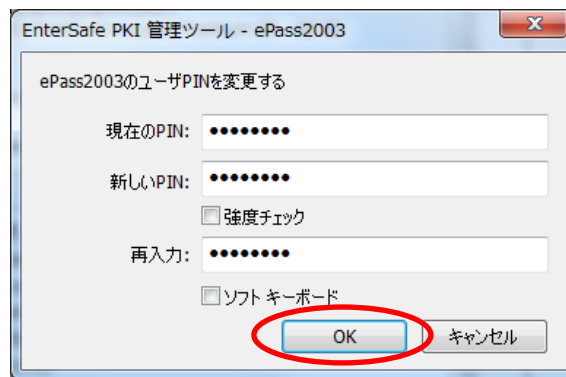
※ 「強度チェック」へチェックすることで、新しい PIN の強度(低～高)を知ることができます。



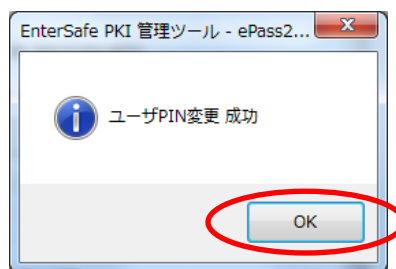
- ※ 「ソフトキーボードを利用する」にチェックを入れることで、ソフトキーボードを利用することができます。
ソフトキーボードを利用する場合、物理キーボードは利用いただけません。



- (3) 現在の PIN、新しい PIN、再入力(新しい PIN)を入力し、「OK」をクリックします。

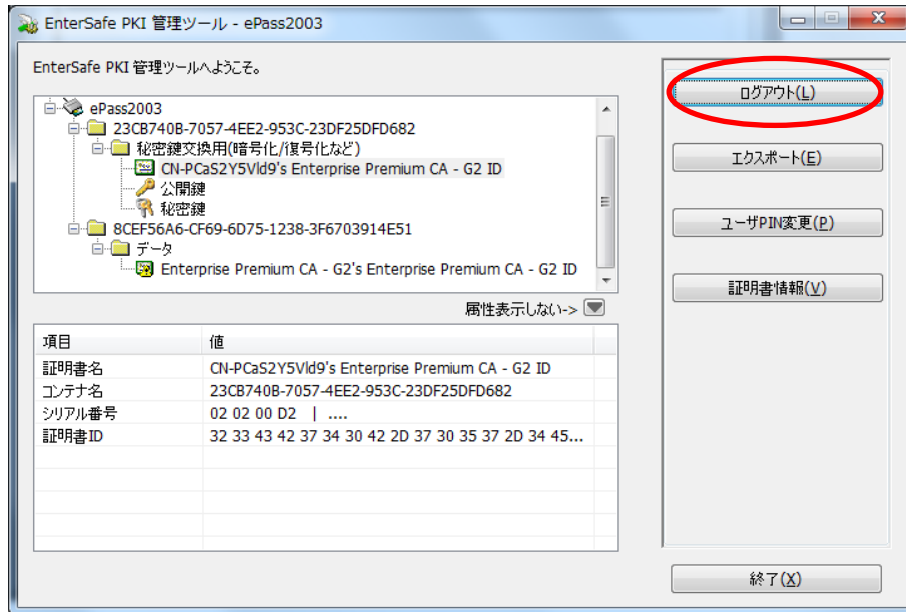


- (4) 「ユーザ PIN 変更 成功」と表示されるので、「OK」をクリックします。

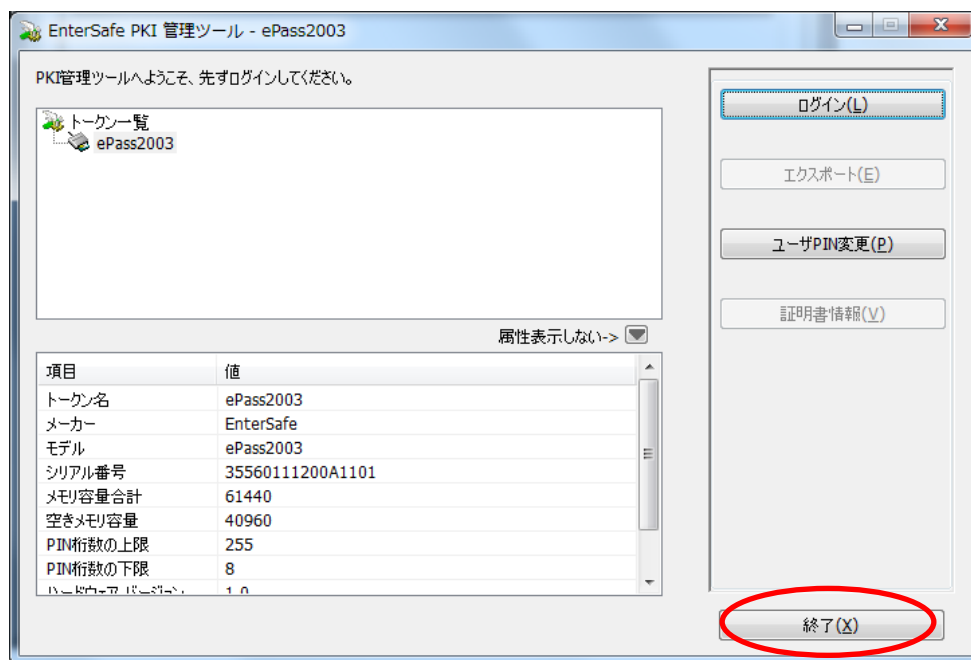


4.6. ログアウト・管理ツールの終了

- (1) ログイン後、作業が終了しましたら、画面を閉じる前に右のメニューから「ログアウト」を行います。



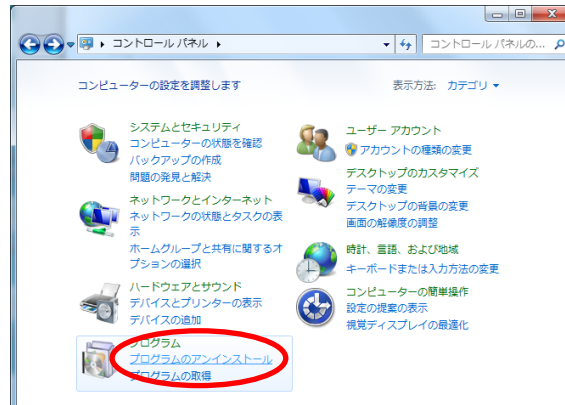
- (2) 画面が「管理ツール」起動直後の状態に戻った事を確認し、「終了」をクリックします。



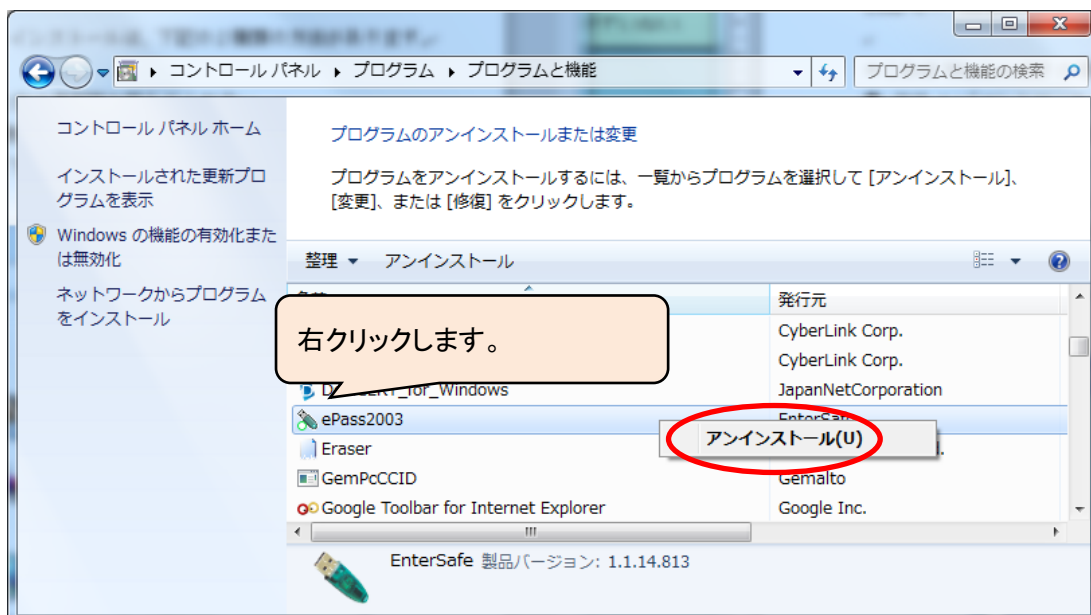
- (3) 「終了してもよろしいですか?」と画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。

5. ランタイムパッケージ(ドライバ)のアンインストール手順

(1) 「コントロールパネル」の「プログラムと機能」または「プログラムのアンインストール」をクリックします。



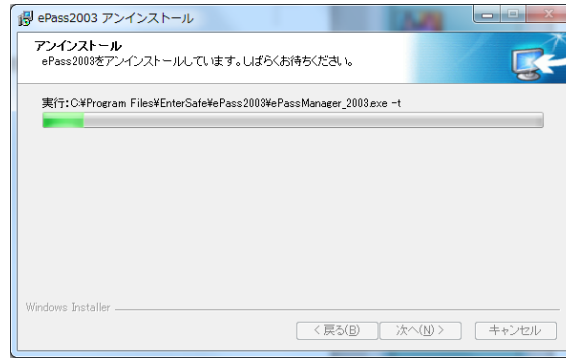
(2) 「ePass2003」を選択し、右クリックして「アンインストール」をクリックします。



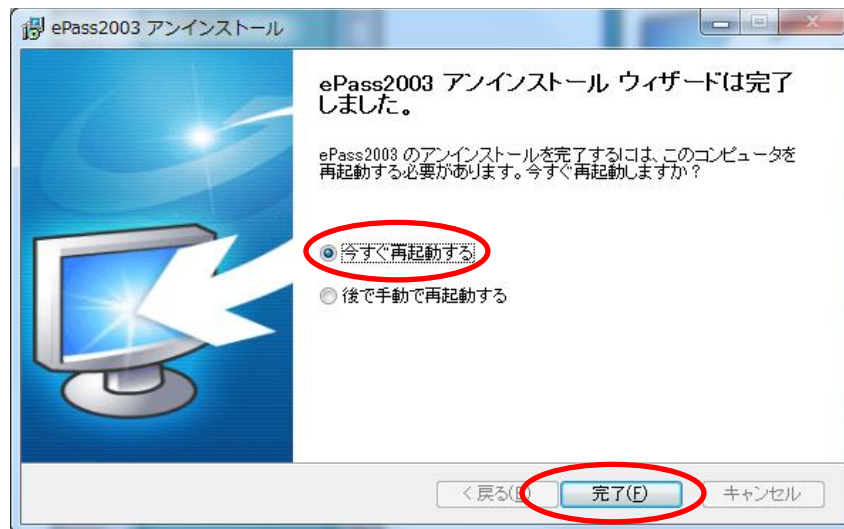
(3) USB トークン (ePass2003) ランタイムパッケージをアンインストールすると、以下の画面が表示されるので「アンインストール」をクリックします。



(4) アンインストールが実施されます。



(5) アンインストールが完了すると以下画面が表示されます。「今すぐ再起動する」を選択し、「完了」をクリックしてください。



(6) 再起動が行われアンインストールが完了します。

- ※ USB トークン(ePass2003)ランタイムパッケージ(ドライバ)をアンインストールする際に一部ファイルが他のアプリケーションに使用されている場合、これらのファイルを削除できないことがあります。その場合、PC の再起動後にこれらのファイルを削除するようにウィザードが警告をすることがあります。もし他のアプリケーションがファイルを利用している場合、該当アプリケーションを一旦終了してから、再度 USB トークン(ePass2003)関連のファイルを削除してください。
- ※ USB トークン(ePass2003)ランタイムパッケージ(ドライバ)のアンインストールでは ePass2003 管理ツールも同時にアンインストールされます。
- ※ アンインストールウィザードから PC の再起動要求があれば直ちに再起動してください。また、USB トークン(ePass2003)ランタイムパッケージ(ドライバ)を再インストールする場合には USB トークン(ePass2003)を USB ポートに接続しない状態でインストールを実行してください。